



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

1. 木産協四部会通常総会等開催!!
2. 山形県林業まつり事務局会議開催!!
3. ウッドショックとウッドチャンス!!
4. 令和2年度森林・林業白書公表!!
5. 「森林・林業基本計画」閣議決定!!
6. 山形県森林管理推進協議会(村山)開催!!



1 木産協四部会通常総会(素材、JAS、プレ、広葉樹)開催!!

令和3年度山形県木材産業協同組合各部会(素材生産部会 6/10、山形県JAS製材連絡協議会 6/15、山形県プレカット協会 6/21、山形県広葉樹利用拡大協議会 6/21)の総会がコロナ感染症対策のため、書面による開催となった。大変お忙しい中、総会開催にご協力いただき感謝申し上げます。お陰様で4団体とも、組合員の半数以上の書面提出をいただき、総会は成立しました。また、第1号議案事業報告、第2号議案事業計画等のご承認をいただきました。コロナ禍ではありますが、第2号議案事業計画案に従い令和3年度も各種事業を進めて参りますので、ご協力ご支援よろしくお願いいたします。

目玉事業として、素材生産部会では第6回山形県林業労働安全大会を7月6日ニューグランドホテル新庄にて開催されます。感染症対策を徹底し、広い会場で各社1名参加の少人数開催とし、記念講演や来賓招待を取りやめ短時間での安全祈願を目指す。また、ウッドショックによる製材品価格高騰を原木価格に反映させる活動を推進する。JAS協部会では、全木連のJAS普及啓発事業を利用し新聞広告や各種イベントでのJAS材のPR活動を実施する。プレカット部会では、昨年製作した簡易物置キットの普及と新たな企画を提案していく。広葉樹部会では、先進地視察と県内でのイベント開催、首都圏のイベント参加で、販路開拓と新製品開発、普及推進を目指す。

2 山形県林業まつり実行委員会事務局会議開催!!

6月8日あこや会館(山形市)にて、令和3年度山形県林業まつり実行委員会事務局会議(事務局長:鈴木木産協専務理事)が事務局員9名の参加で開催された。始めに、昨年度12月に開催された実行員会での決定事項(1.第30回林業まつりは10月中旬に天童市の県総合運動公園で開催する。2.開催については、感染症対策を徹底し安全を確認の上、その時期の県類似イベント開催状況を勘案し、事務局会議・実行委員会で判断する。3.最終日程や会場については委員長に一任する。)を確認した。現在、今年度林業まつりは県のイベント開催要件を遵守したうえで10月16~17日で県総合運動公園南側駐車場特設会場で仮予約されている状況です。意見交換の場でも、感染症対策の課題やまつり開催の意義等様々な意見が出されたが、類似イベントの開催状況や感染力の強い感染症変異型の拡大等から、実行委員会に対し、まつり開催中止を提案していくこととした。また、実行委員会も感染症対策から30名を超える委員を一堂に集めることを避けるために書面による開催を検討している。



3 ウッドショックとウッドチャンス!!

ウッドショックの現状として、農林水産統計5月発表の米マツ平角は全国平均前年度比約3割高の8万3100円で、代替需要としてのスギ正角でも3割高の8万6600円と高値で取引されており、対前月比でも米マツで6%、スギ正角で15%の増と急騰が続いている。素材でも、スギ中丸太(径14~22cm、長さ3.65~4.0m)で1万5500円対前年比29%、対前月比14%の高騰が始まっている。これらを受け、大手ハウスメーカーの一部では、建築費用を数十万円程度値上げしている。一部家具製造メーカーも2割程度値上げしているようだ。

背景として、コロナ禍からの経済回復が進むアメリカと中国における木材需要の高まりにより、日本の輸入木材価格の高騰に繋がっているようだ。米松の大手輸入元の中国木材が1月頃から値上げと出荷量・出荷先の調整を始めたのをきっかけに(個人的見解です。諸説有り。)首都圏の木材製品市場から全国へと外材を中心に品不足感が広がった。同時に大手プレカット工場や商社等の構造材中心に在庫も急減したことで出荷先調整が強まり、本県外材中心の中小工務店が苦境に陥った。(個人的見解です。諸説有り。)県内においても、山形城南木材市場から構造用製材品が消えたのもついこの間のこと。

林野庁では、4月14日に臨時の中央木材需給情報連絡協議会が開催され、各業界代表から現状報告と対応策等意見交換を実施した。また、各地域での需給情報連絡協議会(東北は5月28日Web開催)も開催され、情報共有が図られている。また、輸入木材価格の高騰で、国産材への代替需要が当面継続しそうなことから、ウッドチャンスと捉え国産材回帰への期待も出ている。日本の木材自給率は令和元年には37.8%と9年連続で上昇しており、建築用材の自給率は製材品が51.0%、合板が45.3%となっている。県においては木造建築支援等この機会に県産木材(特に建築用A材)の川上・川中の需要拡大策をお願いしたい。

4 「令和2年度森林・林業白書」公表!!

林野庁は、6月1日「令和2年度森林・林業白書」(P292)を公表した。例年のとおり膨大なデータや写真、コラムで国内林業全般を解説している。手元に白書がある方(林野庁HPで閲覧印刷可能)は、最低限トピックス6件、特集2件、第Ⅱ章林業と山村34P(素材生産の方)、第Ⅲ章木材需給・利用と木材産業62P(製材・流通関係の方)は目を通していただきたい。以下【節穴の目】で概要を紹介する。トピックスでは、1「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行10年を迎えては、低層から中高層まで木造事例が増えたことを写真入りで紹介している。この法律は議員立法により踏み込んだ内容で今秋に改正される見込みである。3森林環境譲与税を活用した取組み事例では、順調に取組みが進んでいる様子が報告されています。本文では、最上町のバイオマスの取組み191Pも紹介されています。特集1では、「森林を活かす持続的な林業経営」と題し、森林の多面的な機能の発揮や山村振興における林業経営の課題等を整理している。再造林意欲を引き出すための方向性が示されています。林業経営体の販売力の強化、生産・流通コストの低減、高性能林業機械の稼働率向上、人材の育成等、創意と工夫で持続性を高めながら成長発展を目指すとしています。特集2では、「新型コロナウイルス感染症による林業・木材産業への影響と対応」について、業界の影響と林野庁の施策等を整理しています。緊急対策として、輸出原木保管等緊急支援や過剰木材在庫利用緊急対策、大径原木加工施設整備緊急対策等が実施され、本県でも採択されています。持続化給付金や雇用調整助成金等も緊急支援されています。第Ⅱ章「林業と山村(中山間地域)」では、林業や山村の動向を、第3章「木材需給・利用と木材産業」では、特に非住宅・中高層分野の木材利用の課題解決について紹介しています。



5 森林・林業基本計画 閣議決定!!

6月15日森林・林業基本計画が閣議決定されました。野上浩太郎農林水産大臣が談話の中で、本計画は、森林・林業基本法に基づき、我が国の森林・林業施策の基本的な方針を定めるもので情勢の変化等を踏まえ、おおむね5年ごとに変更することとしており、この度、2050年カーボンニュートラルを見据えた豊かな社会経済の実現を目指すため、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」5つの柱を掲げていくことを発表している。1. 森林資源の適正な管理・利用、2. 「新しい林業」に向けた取組の展開、3. 木材産業の競争力の強化、4. 都市等における「第2の森林」づくり、5. 新たな山村価値の創造、これら5つの柱の施策に取り組むことになる。



6 山形県森林管理推進協議会村山地域協議会開催!!



6月25日令和3年度第1回山形県森林管理推進協議会村山地域協議会（会長：石川浩県村総森林整備課長）が菅内市町担当者と森林組合、関係業界など約30名の参加で村山総合支庁2F講堂にて開催された。各市町担当者が令和元年度、2年度の進捗状況と3年度計画について、報告と意見交換を実施した。航空レーザー測量について、4市町が要望している。間伐事業予算の要望が多く約半分の採択見込みで不満などの意見が出た。

7 日本百名山シリーズ紹介（早池峰山：ハヤチネサン）

岩手県北上山地の中央に聳える早池峰山(1,917m)は山名よりも高山植物の固有種が有名な山となっている。誰もがこのハヤチネウスユキソウ(エーデルワイスに似ている)を目指し、蛇紋岩の急登をひたすら登ることになる。山頂直下の斜面で群落を見つけたときはそれまでの汗が一気にひいていくのが体感できる。ひたすらシャッターを押している自分に気付くまで、時間が止まった感じだ。登山口の岳集落には早池峰神社があり、その



先の河原坊駐車場に車を置いて登り始めるか、小田越えまでシャトルバスを利用するかである。どちらも2~3時間のコースで山頂にたどり着く。現在、河原坊コースは登山道が中腹で崩壊したため、通行止めのような状況だ。群生地が無事か心配なところだ。登り始めて30分程度で森を抜け、ハイマツなどの低木類の登山道になる。直射日光をまともに受けるので、帽子は必需品です。岩稜帯は晴れても急で滑るし、風も強いので注意が必要だ。しかし、最後にウスユキソウが待っているのである。景色も岩手山など360度山だらけの風景がそこにあります。

8 お知らせ（木材利用推進中央協議会）

詳細については、木材利用推進中央協議会ホームページでご確認ください。



募集中!

「木」の施設で、
街を美しく、
地域を豊かに。

令和3年度 木材利用優良施設 コンクール 公募のご案内

木材利用推進中央協議会では、我が国における木材利用の一層の推進を図るため、木材利用分野の拡大や特色ある施設等を選定し、その整備主体等（施主、設計者、施工者）を表彰しています。受賞施設については、「写真で見る「木」の施設」木造事例集（冊子、令和3年度版）に掲載されます。

今年度は、昨年度までの内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞及び環境大臣賞等に加え、新たに入賞作品50点を選び、合わせて「木の施設」63港が表彰されます。奮ってご応募ください。

令和3年6月28日（月）～8月23日（月）

主催：木材利用推進中央協議会
後援：農林水産省 国土交通省 環境省
森林を活かす都市の木造化推進協議会
共催：都道府県木材利用推進協議会

www.jcatu.jp

木材利用優良施設コンクール | 🔍 検索

9 お知らせ(ウッドデザイン賞2021)

詳細については、ウッドデザイン賞運営事務局ホームページでご確認ください。

ウッドデザイン賞2021応募作品推薦制度のご案内

あなたのおすすめウッドデザイン を教えてください

ウッドデザイン賞運営事務局では、みなさまがご存知の
「ステキ!」「スゴイ!」「大好き!」
なウッドデザインを募集しています。
木製品、建築物、活動、研究等で、
「これはウッドデザイン賞によいのではないか」
と思われるものを教えてください。



- ※被推薦者には推薦者についての情報はお知らせしません。
- ※応募については、被推薦者の任意です。
- ※応募手続き等は、一般の応募者と同様となります。
- ※推薦の有無は審査には影響せず、合否には関係しませんことを予めご承知おきください。

【紹介から応募までの流れ】

- 6/4～6/30「あなたのおすすめウッドデザイン」をご紹介いただく期間
- 運営事務局による内容の確認(過去の応募の有無など)
- 運営事務局よりご紹介のあった企業・団体へご案内の通知
- 6/21～7/30応募作品のエントリー(応募者自身による登録です)
- 第一次審査～第二次審査
- ウッドデザイン賞2021入賞発表～最終審査を経て上位賞発表

ご推薦の登録はウェブサイトから(受付期間6/4～6/30)

ウッドデザイン賞ウェブサイト <http://www.wooddesign.jp>
(募集対象作品の詳細等につきましてもこちらでご確認ください。)



ウッドデザイン賞運営事務局

10 お知らせ（農林水産省農村振興局）

詳細については、農林水産省農村振興局ホームページでご確認ください。



趣旨

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

平成26年度第1回選定から実施し、令和2年度第7回選定までに211の優良事例を選定しております。

選定の対象となる取組

地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組とします。

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

応募期間 令和3年6月16日(水)～8月31日(火)

応募方法 「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ内の応募フォームに必要事項を入力いただき、ダウンロードした応募用紙(Wordファイル)を添付のうえご応募ください。詳細は「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ(<https://www.discovermuranotakara.com>)をご確認ください。



選定方法 有識者懇談会において、総合的に審査し、優良事例を選定します。さらに選定された優良事例の中からグランプリ、優秀賞及び特別賞を選定します。
※ グランプリは団体部門(「ビジネス部門」及び「コミュニティ部門」)より選定

11 緊急情報（6月県議会で木材対策緊急予算追加提案）

6月21日6月定例会で小松伸也議員が一般質問の中で、現在のウッドショックの状況と今後の見込みと対策等について農林水産部長に尋ねた。部長は、輸入材を中心に材価が高騰し、併せて輸入量も低下しており、しばらくは動向を注視していきたい。また、住宅取得者に資材費の値上げ等具体的な損失が見える場合はその対策を検討していくと回答した。



今回、6月28日付け県財政課資料によれば、追加提案として、木材価格高騰「ウッドショック」への緊急対策予算であり、新型コロナワクチン大規模接種事業と2件提案されている。新型コロナに起因する米国等の住宅向け木材需要の急増などを背景とした国産木材の価格高騰に伴い、流通の停滞が見込まれる県産木材の消費喚起のための、県産木材を使用する住宅及び民間施設の新築に対する緊急的な支援で、補助要件として県産認証材を床面積1㎡当たり0.1㎡以上使用することが条件となっている。補助額は、一般住宅で定額30万円、民間施設で上限60万円と予定数量はそれぞれ150件、15件で、対象期間は令和3年4月から12月までとなっている。

県単独事業（県産木材利用住宅支援）

県産認証材を床面積1㎡当たり、0.1㎡以上使用

一般住宅 定額 300千円

民間施設 上限 600千円 を支援する。

期間は令和3年4月～12月

詳細については、6月定例会終了後（7月2日）に

発表される見込み。

12 7月以降の行事予定

日程	行 事 名	予定出席者
7. 1	県と循環資源関連事業打合せ (木産協)	専務
7. 6	第6回山形県林業労働安全大会 (新庄市)	理事長・専務
7. 7	全木連東北ブロック事務局長 Web 会議 (木産協)	専務
7. 13	県と木材産業団体打合せ (県議会棟会議室)	理事長・専務
7. 15	県と専門職大学関係打合せ (木産協)	理事長・専務
7. 29	山形県森林管理推進協議会 Web 会議 (木産協)	専務

13 住宅着工状況

令和3年5月期の県内新設住宅着工戸数は360戸となり、対前月比79.1%、対前年同月比98.1%、対前年累計比は90.4%となった。

特徴的なのが、対前月比で貸家が約7割減となったこと。市町村別では山形市が大きく伸びている。ウッドショックの影響はこれから。

1 県内新設住宅着工戸数(令和3年5月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
5月	367	233	77	1	56	364	3	326	88.8%	264	5	57
R2.1月~5月	1,969	1,123	560	2	284	1,945	24	1,746	88.7%	1,234	41	471
6月	456	292	92	0	72	447	9	412	90.4%	329	8	75
7月	456	251	118	0	87	451	5	416	91.2%	304	4	108
8月	540	296	201	3	40	534	6	480	88.9%	304	10	166
9月	407	260	86	1	60	401	6	366	89.9%	289	7	70
10月	441	268	116	0	57	433	8	412	93.4%	314	9	89
11月	380	247	81	1	51	371	9	332	87.4%	262	3	67
12月	356	202	84	0	70	353	3	316	88.8%	223	5	88
03.1月	238	130	63	0	45	177	61	198	83.2%	148	6	44
2月	364	173	76	0	115	355	9	242	66.5%	180	4	58
3月	362	215	94	2	51	357	5	340	93.9%	231	5	104
4月	455	283	122	0	50	437	18	406	89.2%	337	7	62
5月	360	280	34	0	46	351	9	330	91.7%	283	4	43
対前月比	79.1%	98.9%	27.9%	-	92.0%	80.3%	50.0%	81.3%	-	84.0%	57.1%	69.4%
対前年同月比	98.1%	120.2%	44.2%	0.0%	82.1%	96.4%	300.0%	101.2%	-	107.2%	80.0%	75.4%
02.1~当月計	1,969	1,123	560	2	284	1,945	24	1,746	88.7%	1,234	41	471
03.1~当月計	1,779	1,081	389	2	307	1,677	102	1,516	85.2%	1,179	26	311
対累計前年比	90.4%	96.3%	69.5%	100.0%	108.1%	86.2%	425.0%	86.8%	-	95.5%	63.4%	66.0%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和3年5月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	360	1,779	98.1%	90.4%	1,516
山形市	111	586	191.4%	107.7%	404
上山市	6	44	120.0%	133.3%	43
天童市	30	118	103.4%	67.0%	105
山辺町	10	27	166.7%	150.0%	25
中山町	4	7	100.0%	77.8%	7
東南村山	161	782	157.8%	100.3%	584
寒河江市	16	90	76.2%	125.0%	89
河北町	3	27	37.5%	69.2%	27
西川町	0	0	0.0%	0.0%	0
朝日町	1	2	-	28.6%	2
大江町	4	6	400.0%	75.0%	6
西村山	24	125	77.4%	98.4%	124
村山市	7	19	140.0%	82.6%	19
東根市	15	140	26.8%	58.3%	134
尾花沢市	3	11	150.0%	84.6%	10
大石田町	1	2	20.0%	20.0%	2
北村山	26	172	38.2%	60.1%	165
村山地域	211	1,079	105.0%	90.4%	873
新庄市	4	37	25.0%	80.4%	37
金山町	0	1	0.0%	50.0%	1
最上町	3	5	150.0%	100.0%	5
舟形町	2	4	-	-	4
真室川町	0	2	0.0%	33.3%	2

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	0.0%	0.0%	0
鮭川村	1	2	100.0%	50.0%	2
戸沢村	1	3	-	-	3
最上地域	11	54	45.8%	83.1%	54
米沢市	16	106	123.1%	106.0%	103
南陽市	7	28	46.7%	46.7%	27
高島町	5	28	62.5%	54.9%	27
川西町	5	19	125.0%	146.2%	18
東南置賜	33	181	82.5%	80.8%	175
長井市	15	43	115.4%	102.4%	43
小国町	1	4	50.0%	100.0%	4
白鷹町	4	13	400.0%	216.7%	13
飯豊町	3	8	150.0%	114.3%	8
西置賜	23	68	127.8%	115.3%	68
置賜地域	56	249	96.6%	88.0%	243
鶴岡市	57	195	154.1%	84.4%	173
三川町	1	9	33.3%	112.5%	9
庄内町	4	33	57.1%	143.5%	31
田川	62	237	131.9%	90.5%	213
酒田市	20	156	64.5%	102.0%	129
遊佐町	0	4	0.0%	30.8%	4
飽海	20	160	54.1%	96.4%	133
庄内地域	82	397	97.6%	92.8%	346

注:累計は令和3年1月~